



広島県立広島中学校・広島高等学校

# SGH通信



SUPERGLOBAL HIGH SCHOOL

第 3 号 平成 30 年 10 月 24 日

執筆担当者：松岡 真徳

## グローバル問題研究夏季集中講座（7月31日実施）

### Topic 1 集中講座の目的・概要

今年度も持続可能な社会を構築するグローバル・リーダーの育成を目的とした、グローバル問題研究夏季集中講座を実施しました。本講座では、9つのグループに分かれ、本校の高校1年生105名と2年生9名が、在外広島県人会の高校生17名や広島大学の留学生8名と、平和について英語で意見交換を行いました。高校2年生の9人はファシリテーターとして進行役を務め、各グループで出た意見を模造紙にまとめていきました。そしてそれらを相互発表しお互いの意見を深め合う活動を行いました。

このような異文化協働活動を通して、グローバルな諸課題に対する議論やワークショップ等で成果物をまとめ発信していくという力は、「持続可能な社会」を構築するために必要となるものです。今後ともグローバルな社会問題に関する探究を深めていきましょう。

### Topic 2 集中講座の日程

平成30年7月31日（火） 9:30 ~ 15:30

【広島高等学校 多目的教室, HR教室】

- ~ 9:00 多目的教室へ集合
- 9:00~9:30 在外県人会生徒等来校（控え室：第1情報教室）
- 9:30~10:00 開会の言葉。顔合わせ、自己紹介、研修グループ編成（多目的教室）
- 10:00~12:00 「平和について」を題材にしたワークショップ（高1HR教室）
- 12:00~12:50 昼食・スクールツアー（50分）
- 12:50~13:50 問題解決ワークショップの発表資料の完成（高1HR教室）
- 14:00~14:20 同じ教室のグループ間で発表。代表グループ決定
- 14:30~15:00 全体で発表会（多目的教室）
- 15:00~15:30 閉会行事。参加者からのメッセージを発表
- 16:00 解散

当初は2日間の日程で、初日に広島大学を訪問し、留学生の方や、青年海外協力隊に参加経験のある学生とのワークショップ等を計画していました。しかし今年度は7月の豪雨の影響で、1日だけの日程に変更しての実施となりました。

### Topic 3 集中講座の内容

#### (1) 在外広島県人会生徒との顔合わせ・自己紹介

アメリカ（ハワイ・シアトル他）、ペルー、ブラジル、メキシコ、アルゼンチン等の複数の国から、2週間の計画で広島に訪問している在外広島県人会の生徒達を迎え、オールイングリッシュで1日を過ごす本講座が始まりました。まず一緒に過ごすグループごとに分かれ、自己紹介を行いました。同年代とはいえ、大人びて見える外国の友達に、まずは自分のことを分かってもらおうと、胸に付けたネームタグを示しながら笑顔で懸命に話している姿が印象的でした。

#### (2) 「平和について」を題材にしたワークショップ

まず本校の外国語科教員3名から講義が行われました。「本日は皆さんに1日『平和について』をテーマにして、様々な意見を出してもらいたいと



思います。国によって『平和』についての考え方も異なると思います。それらの考えを持ち寄り、共通点や違いに気が付くことから、この社会を持続可能なものとしていくための学習としていきたいと考えています。」と伝えられたのち、写真や映像を用いて、日本における平和の捉え方とともに外国の人から見る平和の捉え方について等が紹介されました。

次に、3つの教室へ分かれ、KJ法を用いて複数の意見を出し合いました。自分たちが考える「平和」について、付箋紙に一つ一つ意見をだし、模造紙にまとめていく等グループワークを行いました。

各グループの高校2年生がファシリテーターとして進行役を務めてくれました。高校1年生も一生懸命に単語をつなげて意思疎通しようと頑張っていました。



### (3) 同じ教室のグループ間で発表・全体での発表

ワークショップで作成したポスターを活用して、クラス間で相互発表しました。複数の意見を上手にまとめ、身振り手振りを用いて発表していました。質問も出され、異文化で生活している人たちの意見を聴いたり、自分の考えを付け加えて説明したりすることで、相互の意見交換を行いました。

グローバルな見地からの文化の共通点や相違点を知ることは、今後自分自身がこういった姿勢を身に付けて社会へ臨まなくてはいけないのかということを経験から得る貴重なものであったと思います。



## Topic 4 生徒の感想

- 【高1】「平和」というとても難しい課題についての講義を受けて、私はたくさんのことを得ることができました。世界的な問題に対するものの見方・考え方には、個人レベル、地域レベル、国家レベル、そして世界レベルという段階ごとに見たり考えたりすることが必要になることを学びました。これからの課題解決の時に役立てたいと思います。この講座で得たことを無駄にしないように今後の学習に生かしていきます。
- 【高1】今回夏季集中講座に参加して、コミュニケーション能力がとても重要だと思いました。英語があまりできなくても、相手は一生懸命理解しようとしてくれるので、まず自分の意見を言うことが大切だと思いました。外国の方と上手くコミュニケーションするには、今回のような機会を一回一回大切にしていったり、あいづちやリアクションを示していったりすることが求められるのだとわかりました。自分が理解していることを積極的に伝える努力をしていきたいです。
- 【高2】今回ファシリテーターとして参加してみて、すべてのことが初めてするようなことばかりでとても難しかったです。自分の意見を出してみんなをリードしたり、また逆に意見が活発に出るようにと私自身が意見を言い過ぎると違う考えを持っている人が言いづらくなってしまふのかなととても悩みました。去年は広島大学の留学生の方が班に2人いてくださって、皆に話を振ってもらいながらそれぞれに意見を出させつつも、その中で共通点を見つけて少しずつ話をつなげてまとめている姿を目の当たりにしていたので、本当にすごいことをしていたのだなと実感しました。このような機会はめったにないので、貴重な経験ができて良かったです。次はもっと上手にファシリテートしたいです。
- 【高2】今回私は2年生でファシリテーターとして参加しました。外国の人と複数の学年の考えをまとめるという、今までしたことが無いことを経験できました。「通訳してあげて」と言われた時は、ヒヤヒヤしましたが、相手が簡単な英語で話してくれて、リスニングの練習にもなりました。やはり人は意見が様々であり、日本語でもまとめることが大変なのに、英語だと緊張して上手に主張できませんでした。もっといろいろな体験をしていきたいです。